



令和8年度 新宿区立淀橋第四小学校 学校経営方針

校長 片山 直子

学校教育目標

○助け合う子ども ◎考える子ども(重点) ○やりぬく子ども ○じょうぶな子ども

基本理念

「わかった!」「できた!」 学ぶ喜び・知る楽しさがあふれる学校

行動のキーワード

連携・試行錯誤

子どものためになっているか

- (1)基礎学力の向上と主体的・対話的で深い学びの実現を支える授業改善
- (2)子ども一人ひとりの居場所を保障する安心・安全な環境づくり
- (3)すすんでさわやかな挨拶を交わす子どもたち
- (4)教職員相互、教職員と保護者・地域との連携 「チーム淀四」

①学力の向上

- 「考える力」を高める問題解決型学習
- めあてと振り返りの連携
- 授業・教室環境のUD化
- ICT機器の活用促進
- 基礎学力の習得(個に応じた指導)
- 学校図書館活用・読書活動の充実
- 体験活動の充実
- 日本語指導・英語活動の充実

②豊かな人間性の育成

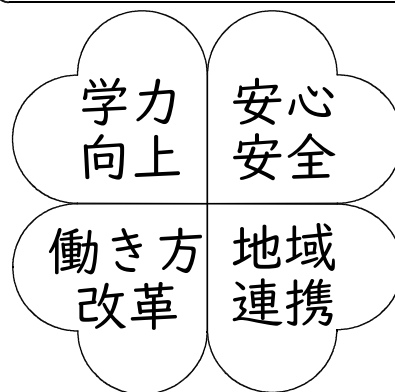
- 日常生活の中での人権意識の醸成
- 「いじめを許さない」指導の徹底
【未然防止・早期発見・対応・丁寧な事後指導】
- 気持ちのよい挨拶の習慣化
- 正しい言語環境の維持
- 縦割り班活動「淀四キッズ」
- 特別支援教育の充実
- 道徳科を要とした道徳教育の充実
- 国際理解教育の推進
- 音楽教育の充実(金管バンド・和太鼓等)

③体力の向上

- 運動の機会の確保・授業改善
- 朝運動、淀四ギネス(体力アップの取組)
- 体育朝会、マラソン・なわとび月間
- 体力テスト・スポーツギネス新宿の実施・活用
- コーディネーショントレーニングの実施
- オリンピック・パラリンピック・デフリンピックへの理解促進
- 健康習慣「早寝・早起き・朝ごはん」
- 栄養士による食育指導と学校保健委員会

④安心・安全な教育環境

- 安心・安全に配慮した教育活動
- 子どもを大切に、気持ちに寄り添う指導
- リスクセシスの向上
- 適切な学習環境の維持
- 不登校の未然防止、SC・SSW等との連携
- 安全・防災教育の実施
- SNSの適切な利用(セーフティ教室)
- hyper-QU調査の活用(拡大学年会)



⑤地域との協働・体験活動の充実

- OPTA(自転車教室、見守り、イベントサポート等)
- 地域(淀四地区子どもを守る会・安全ボランティア)、関係諸機関との連携
- 地域防災訓練への参加、不審者対応訓練、起震車体験、集団下校、交通安全教室等の実施
- 地域の特色を生かした体験活動
 - ◇邦楽教室
 - ◇絵手紙教室
 - ◇環境教育(みどりのカーテン、3R、内藤とうがらし栽培、屋上芝生、ピオトープ等)
 - ◇茶道教室
 - ◇昔の道具体験
 - ◇トップアスリートとの交流
 - ◇和太鼓クラブ・金管バンドの地域行事への参加
 - ◇キャリア教育 等

⑥小中、保幼子小の連携

- 併設幼稚園との連携の推進・充実
- 架け橋プログラムの計画・実施
- 保幼子小の滑らかな接続の実現
- 小中連携の活性化
- 効果的な乗り入れ指導の実施検討

⑦働き方改革

- 資質や指導力の向上を図る研究・研修
- 校内OJTの内容・組織の工夫
- 自己申告書の活用・充実
- 適切なライフワークバランスの実現
- メリハリを意識した勤務の実現
- 年休等が取りやすい職場環境
- 働きがいの維持・向上のための対話促進
- 学習支援員・時間講師・外部人材の活用